

ASEAN・インド・豪州月報 (2021年3月)

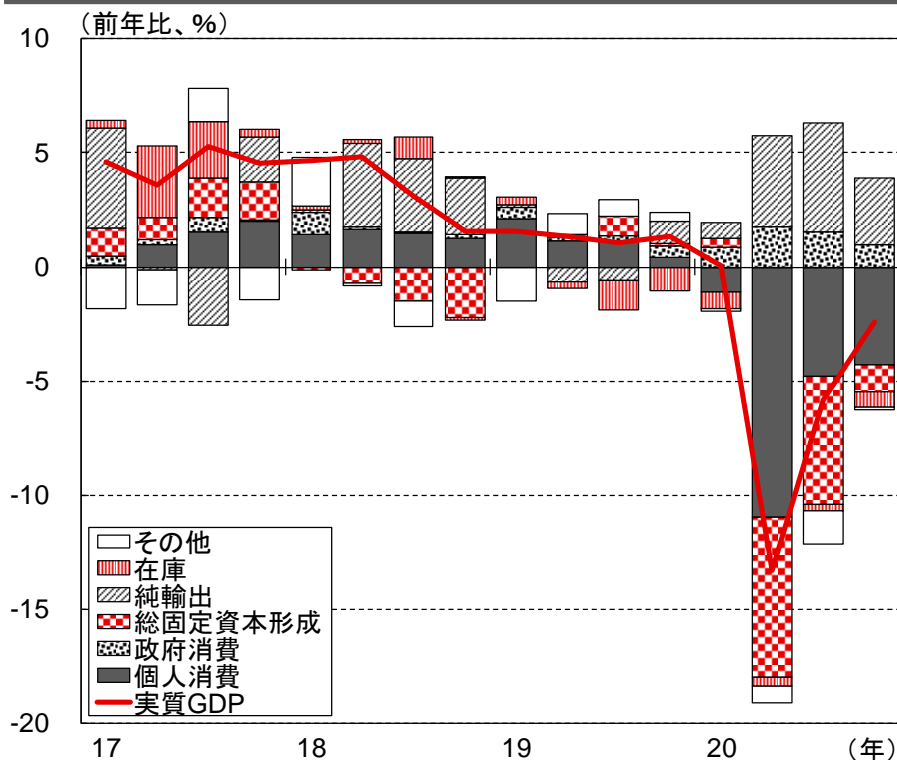
2021年3月3日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. シンガポール

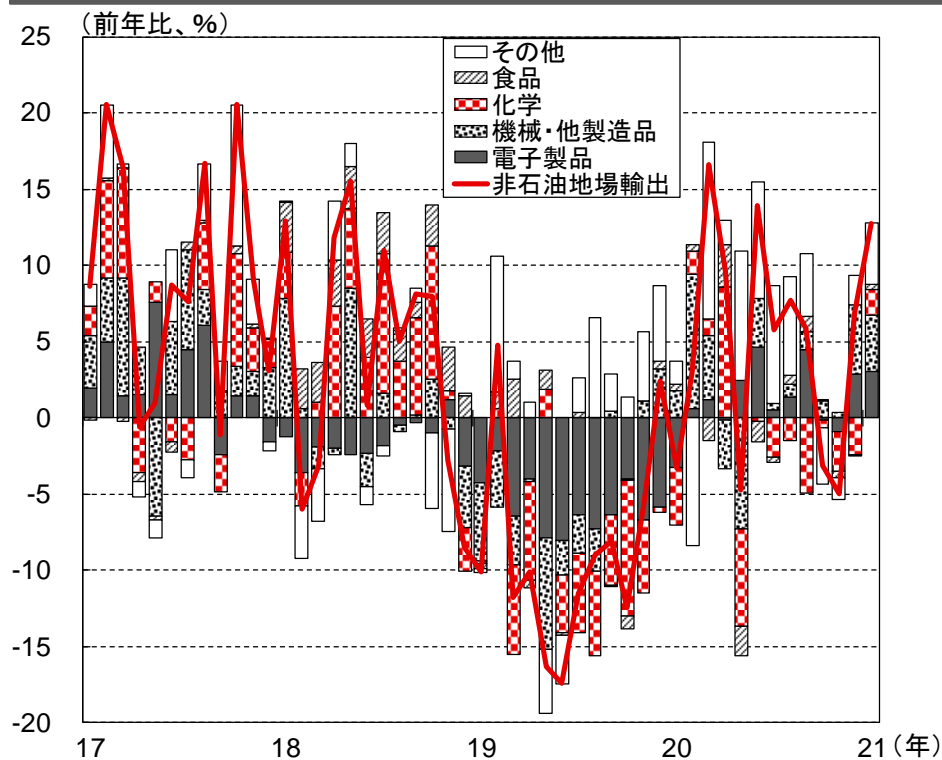
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は、前年比▲2.4%と引き続き前年割れとなったものの、前期(同▲5.8%)からマイナス幅は縮小。内需は、個人消費が同▲11.3%と大幅なマイナスとなったものの、政府消費は同+9.6%と引き続きプラスを維持。外需は、輸入が大幅に減少したことを主因にプラス寄与が継続。この結果、2020年通年の実質GDP成長率は同▲5.4%となった。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+4.0%~+6.0%と予想。
- 1月の非石油地場輸出は前年比+12.8%と2カ月連続でプラス。品目別にみると、主力の電子製品に加え、機械・他製造品も大幅な増加が続いた。仕向け地別では米国やEU、日本向けが軟調に推移した一方、ASEANやNIEs向けが大きく増加。

シンガポールの実質GDPの推移



(資料)シンガポール貿易産業省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

シンガポールの非石油地場輸出の推移



(資料)シンガポール国際企業庁統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

1. シンガポール

シンガポールの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	376	374	340								
人口(100万人)	5.64	5.70	5.69								
1人あたりGDP(ドル)	66,677	65,656	59,807								
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.5)	(1.3)	(▲5.4)	(0.0)	(▲13.3)	(▲5.8)	(▲2.4)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(7.0)	(▲1.5)	(7.5)	(8.3)	(▲0.4)	(11.1)	(11.2)	(19.4)	(16.2)	(8.6)	
小売売上高指数(前年比、%)	(▲0.8)	(▲2.8)	(▲15.3)	(▲9.5)	(▲40.0)	(▲8.3)	(▲4.5)	(▲1.7)	(▲3.6)		
消費者物価指数(前年比、%)	(0.4)	(0.6)	(▲0.2)	(0.4)	(▲0.7)	(▲0.3)	(▲0.1)	(▲0.1)	(0.0)	(0.2)	
輸出(FOB)(100万Sドル)	555,665	532,514	515,645	133,814	117,070	131,134	133,627	43,292	46,247	45,003	
(前年比、%)	(7.9)	(▲4.2)	(▲3.2)	(4.0)	(▲11.4)	(▲2.2)	(▲2.9)	(▲5.4)	(2.6)	(1.1)	
輸入(CIF)(100万Sドル)	500,194	489,712	453,467	121,086	102,458	113,117	116,806	38,478	40,155	39,032	
(前年比、%)	(10.6)	(▲2.1)	(▲7.4)	(2.6)	(▲16.6)	(▲7.6)	(▲7.6)	(▲9.4)	(▲3.4)	(▲5.2)	
貿易収支(100万Sドル)	55,471	42,802	62,177	12,728	14,612	18,016	16,821	4,814	6,092	5,971	
経常収支(100万Sドル)	78,144	72,844	82,489	19,686	20,452	22,728	19,623				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	287,466	279,240	362,088	278,935	312,286	327,822	362,088	352,419	362,088		
SIBOR3カ月(Sドル、%)◎	1.89	1.77	0.41	1.00	0.56	0.41	0.41	0.41	0.41	0.40	
為替(Sドル/USDドル)*	1.349	1.364	1.379	1.386	1.412	1.374	1.347	1.348	1.332	1.326	1.327
株価指数◎	3,068.8	3,222.8	2,843.8	2,481.2	2,589.9	2,466.6	2,843.8	2,806.0	2,843.8	2,902.5	2,949.0

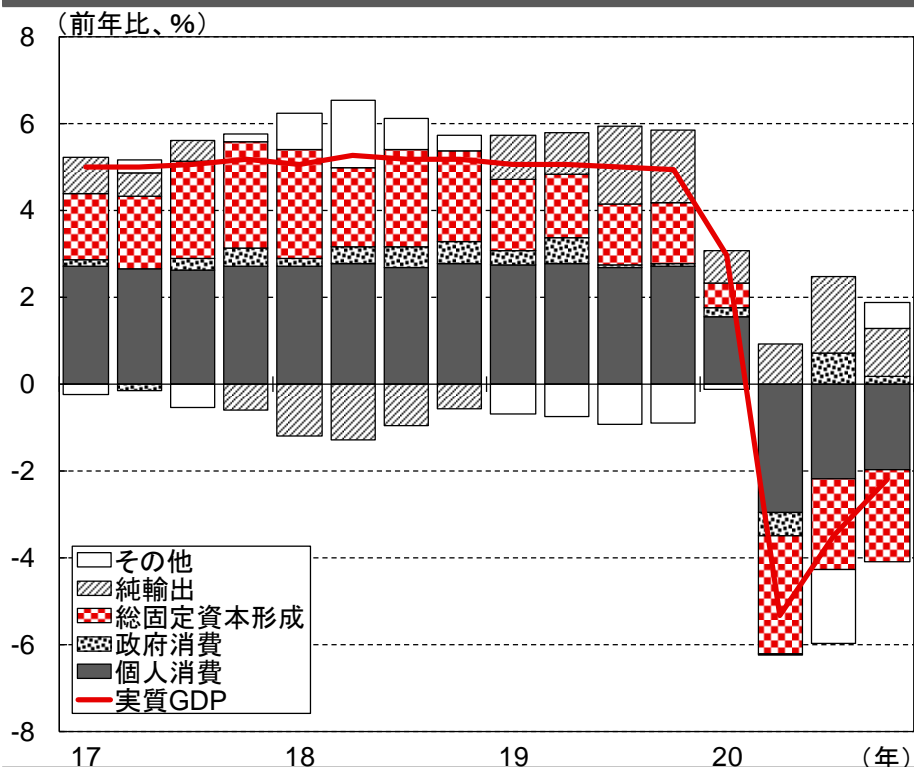
(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値。

(資料)シンガポール統計局、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. インドネシア

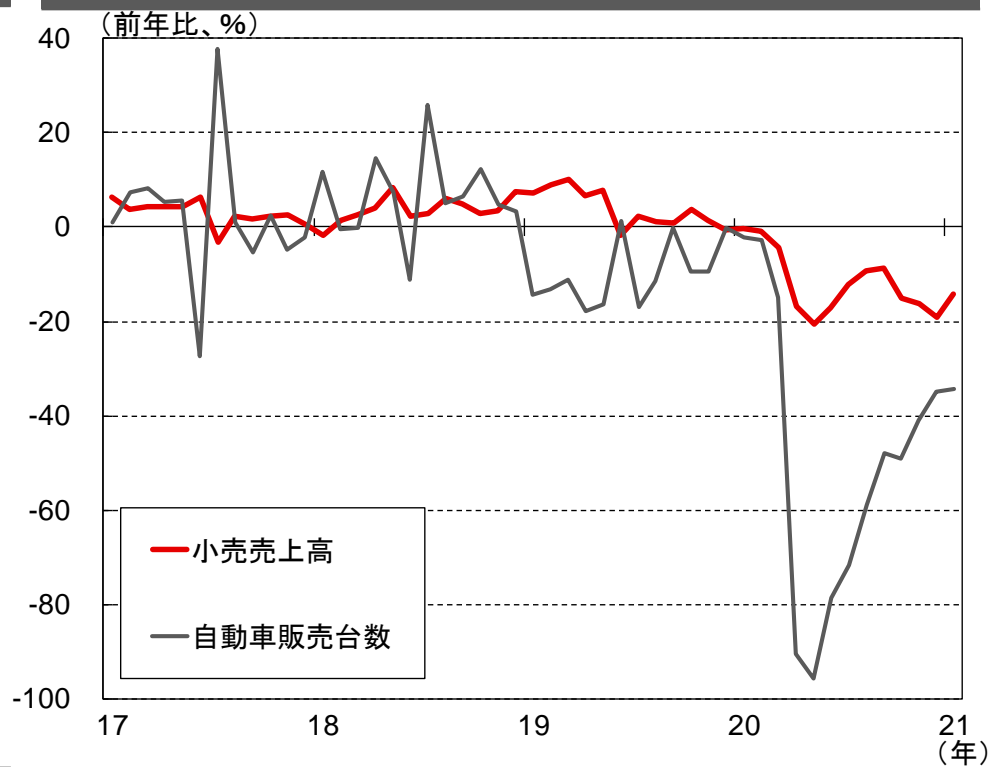
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は前年比▲2.2%と引き続き前年割れとなったものの、前期(同▲3.5%)からマイナス幅が縮小。内需は、実質GDPの約5割を占める個人消費が同▲3.6%と減少が続いたことに加え、総固定資本形成も同▲6.5%と全体を下押し。一方、外需は、個人消費の不振から輸入が減少したことを主因に引き続きプラスに寄与。この結果、2020年通年の実質GDP成長率は同▲2.1%となった。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+4.5%~+5.3%と予想。
- 1月の小売売上高は前年比▲14.2%、自動車販売台数は同▲34.2%と引き続き大幅な前年割れ。新型コロナウイルスの感染拡大抑制に苦戦しており、1月に入り行動制限が再強化された影響で、内需の回復は依然鈍い。1月中旬からワクチン接種を開始しており、政府は集団免疫の獲得に必要とみられる人口の約7割に相当する1億8,150万人への接種を2022年3月までに行うことを目標にしている。

インドネシアの実質GDPの推移



(資料)インドネシア中央統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

インドネシアの小売売上高と自動車販売の推移



(資料)インドネシア中央統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. インドネシア

インドネシアの主要経済指標

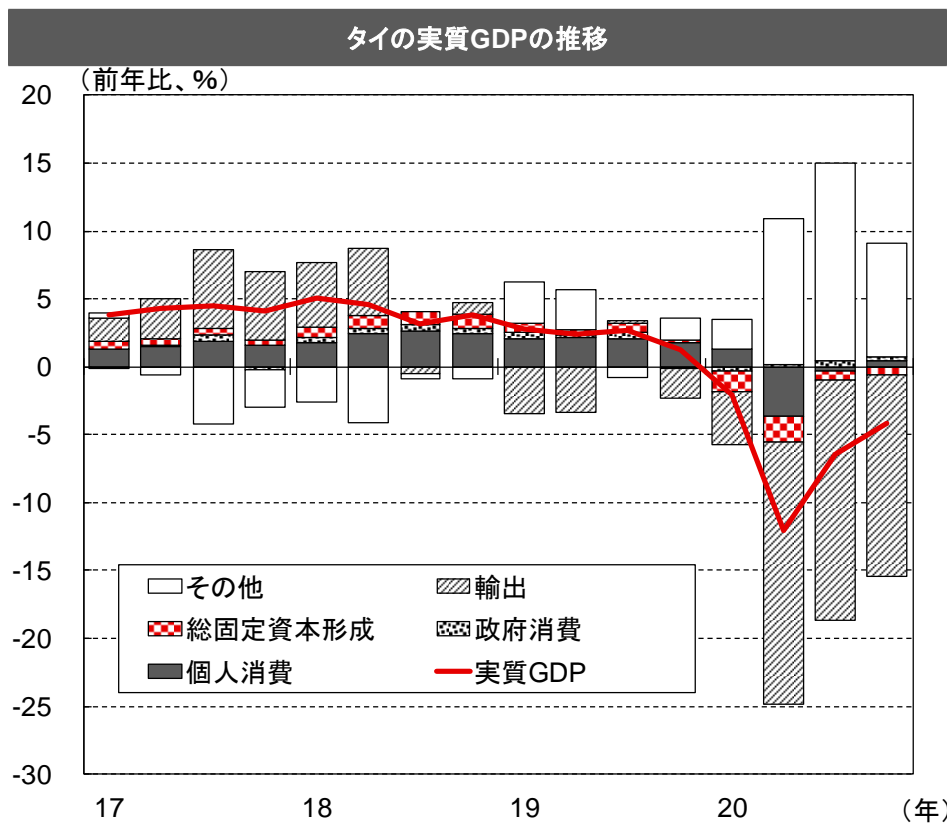
	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	1,042	1,119	1,059								
人口(100万人)	264.2	266.9	270.2								
1人あたりGDP(ドル)	3,945	4,193	3,920								
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.2)	(5.0)	(▲2.1)	(3.0)	(▲5.3)	(▲3.5)	(▲2.2)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(4.5)	(4.0)									
国内自動車販売(台)	1,151,284	1,030,126	532,027	236,890	24,042	111,114	159,981	53,834	57,129	52,910	
(前年比、%)	(6.9)	(▲10.5)	(▲48.4)	(▲6.9)	(▲89.4)	(▲59.3)	(▲41.8)	(▲41.0)	(▲34.8)	(▲34.2)	
消費者物価指数*(前年比、%)	(3.2)	(2.8)	(2.0)	(2.9)	(2.3)	(1.4)	(1.6)	(1.6)	(1.7)	(1.6)	(1.4)
輸出(FOB)(100万ドル)	180,013	167,683	163,306	41,761	34,627	40,759	46,160	15,259	16,538	15,294	
(前年比、%)	(6.6)	(▲6.8)	(▲2.6)	(1.2)	(▲12.5)	(▲6.5)	(6.7)	(9.4)	(14.6)	(12.2)	
輸入(CIF)(100万ドル)	188,711	171,276	141,569	39,169	31,734	32,777	37,889	12,664	14,438	13,330	
(前年比、%)	(20.2)	(▲9.2)	(▲17.3)	(▲5.0)	(▲23.5)	(▲25.4)	(▲15.1)	(▲17.4)	(▲0.5)	(▲6.6)	
貿易収支(100万ドル)	▲8,699	▲3,593	21,738	2,592	2,893	7,982	8,271	2,595	2,100	1,964	
経常収支(100万ドル)	▲30,633	▲30,279	▲4,739	▲3,605	▲2,938	1,008	795				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	117,425	125,339	131,139	116,875	127,236	130,367	131,139	129,065	131,139		
7日物リバースレポレート◎	6.00	5.00	3.75	4.50	4.25	4.00	3.75	3.75	3.75	3.75	3.50
為替(ルピア/ドル)*	14,250	14,146	14,577	14,234	14,997	14,718	14,382	14,237	14,166	14,062	14,044
株価指数◎	6,194.5	6,299.5	5,979.1	4,538.9	4,905.4	4,870.0	5,979.1	5,612.4	5,979.1	5,862.4	6,241.8

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

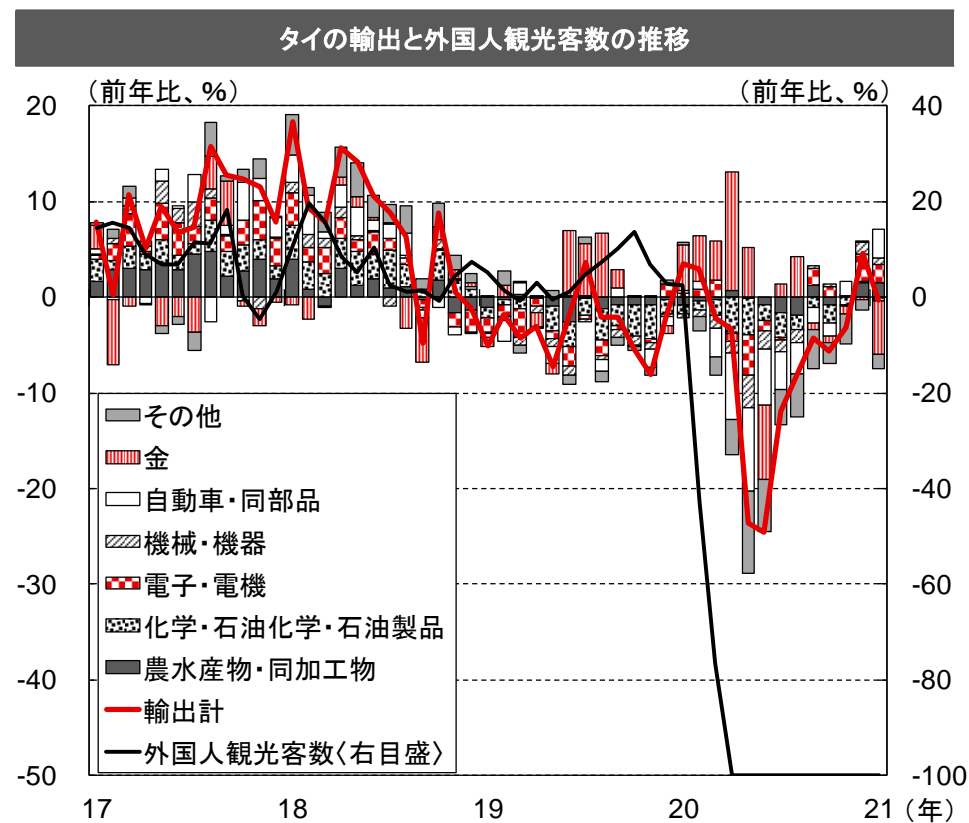
(資料)インドネシア中央銀行、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. タイ

- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は前年比▲4.2%と引き続き前年割れとなったものの、前期(同▲6.4%)からマイナス幅が縮小。新型コロナウイルスの影響による入国制限が長引きサービス輸出が底這いとなったことで、輸出全体の伸びも同▲21.4%となった。一方、国内の感染拡大を早期に抑制したことから内需は持ち直しが続き、個人消費は同+0.9%と僅かながらプラス転化。この結果、2020年通年の実質GDP成長率は同▲6.1%となった。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+2.5%～+3.5%と予想。
- 1月の財輸出は前年比▲0.3%と再度マイナスに。但し、変動の激しい金が同▲90.0%と大幅な減少となった影響が大きく、金を除くと同+5.5%と2カ月連続でプラス。コロナ禍を受け需要が増加している電子・電機類を中心に概ね持ち直しの動きが継続。一方、外国人観光客数は引き続きほぼゼロの状況であり、政府は2021年の外国人観光客数予想を320万人程度と、2019年実績(4,000万人)の1割にも達しないとみている。



(資料)タイ国家経済社会開発統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料)タイ中央銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. タイ

タイの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	507	544	502								
人口(100万人)	66.4	66.6									
1人あたりGDP(ドル)	7,629	8,179									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.2)	(2.3)	(▲6.1)	(▲2.1)	(▲12.1)	(▲6.4)	(▲4.2)				
製造業生産指数(前年比、%)	(3.9)	(▲3.4)	(▲9.3)	(▲6.7)	(▲20.4)	(▲8.5)	(▲1.6)	(▲0.6)	(▲2.8)	(▲2.8)	
民間消費指数(前年比、%)	(4.9)	(2.8)	(▲1.8)	(1.7)	(▲10.3)	(▲0.1)	(1.5)	(2.1)	(3.0)	(▲4.9)	
自動車販売台数(台)	1,041,739	1,007,552	792,146	200,064	128,576	206,125	257,381	79,177	104,089	55,208	
(前年比、%)	(19.5)	(▲3.3)	(▲21.4)	(▲24.1)	(▲50.6)	(▲13.4)	(4.8)	(▲0.2)	(16.6)	(▲23.0)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.1)	(0.7)	(▲0.8)	(0.4)	(▲2.7)	(▲0.7)	(▲0.4)	(▲0.4)	(▲0.3)	(▲0.3)	
失業率(%)*	1.1	1.0	1.6	1.1	n.a.	1.9	1.9	2.0	1.5		
輸出(FOB)(100万ドル)	251,108	242,701	226,716	60,811	49,820	57,990	58,095	18,892	19,921	19,614	
(前年比、%)	(7.5)	(▲3.3)	(▲6.6)	(1.3)	(▲17.7)	(▲8.2)	(▲1.5)	(▲3.1)	(4.6)	(▲0.3)	
輸入(FOB)(100万ドル)	228,720	215,976	186,896	51,710	40,902	44,420	49,864	16,989	17,087	17,720	
(前年比、%)	(13.7)	(▲5.6)	(▲13.5)	(▲3.1)	(▲25.0)	(▲19.4)	(▲5.9)	(▲3.3)	(▲0.1)	(▲6.9)	
貿易収支(100万ドル)	22,388	26,725	39,820	9,101	8,918	13,570	8,231	1,903	2,834	1,894	
経常収支(100万ドル)	28,423	38,206	16,539	9,824	1,314	6,570	▲1,168	▲1,476	▲693	▲673	
資本収支(100万ドル)	▲13,204	▲15,656		▲8,375	9,829	▲4,928					
対外債務残高(100万ドル)◎	163,103	171,885		165,295	171,702	171,974					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	199,296	216,821	248,750	218,697	232,771	241,725	248,750	244,702	248,750	247,705	
翌日物レポ金利(%)◎	1.75	1.25	0.50	0.75	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
為替(パーツ/ドル)*	32.32	31.04	31.29	31.29	31.93	31.34	30.61	30.47	30.08	30.00	29.99
株価指数◎	1,563.9	1,579.8	1,449.4	1,125.9	1,339.0	1,237.0	1,449.4	1,408.3	1,449.4	1,467.0	1,496.8

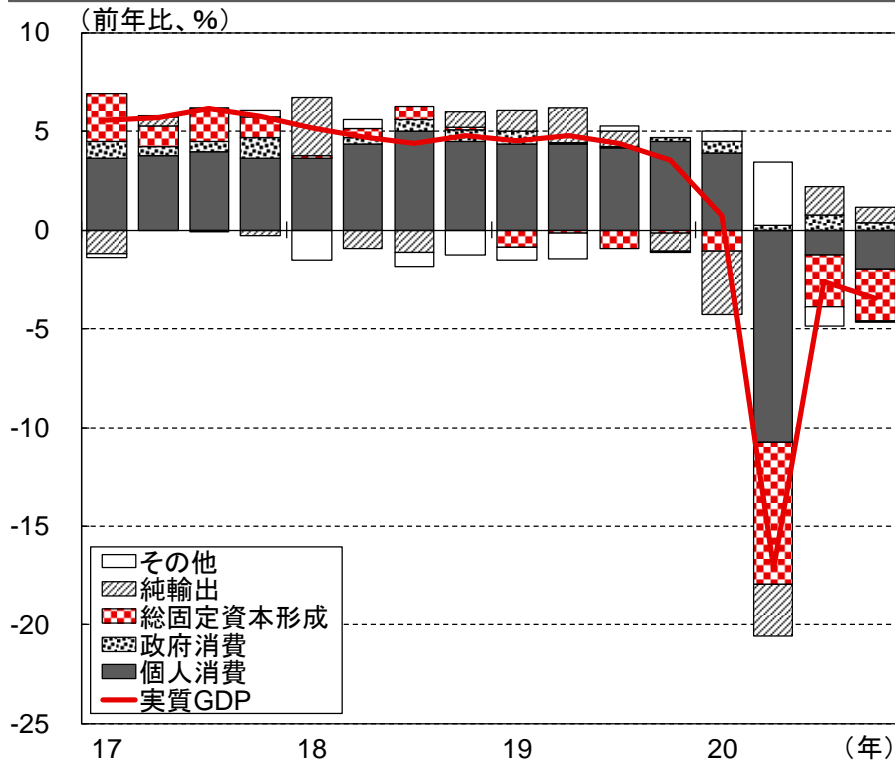
(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値、輸出入および貿易収支は国際収支ベース。

(資料) タイ中央銀行、国家経済社会開発委員会、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. マレーシア

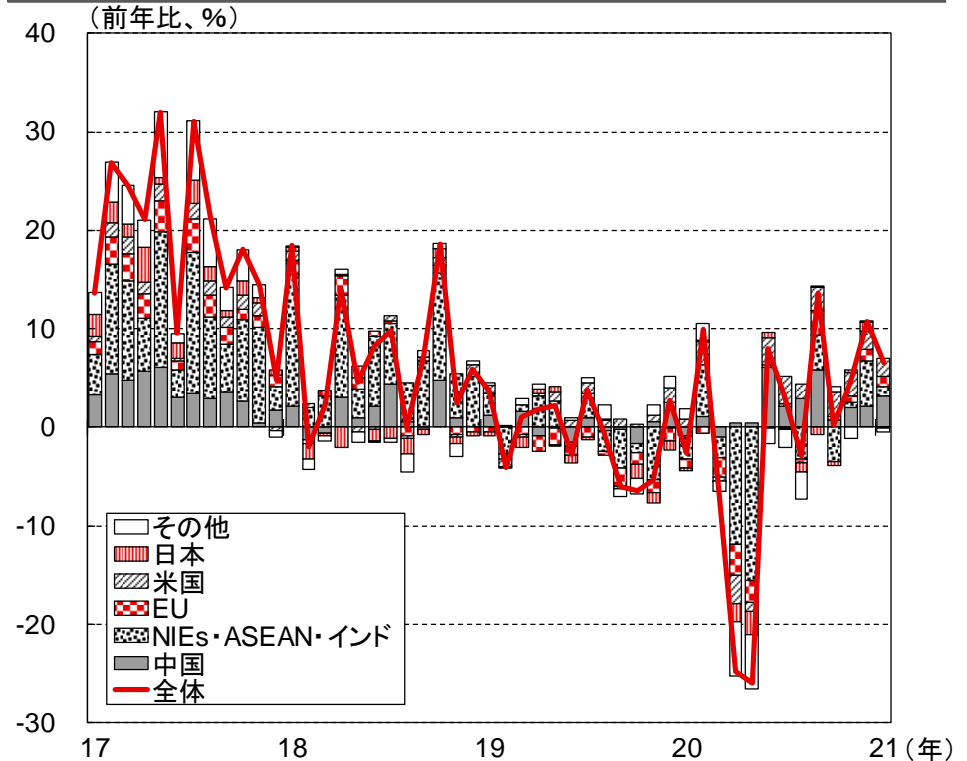
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は、前年比▲3.4%と前期(同▲2.6%)からマイナス幅が小幅に拡大。内需は、政府消費は同+2.7%とプラスが続くも、個人消費は同▲3.4%、総固定資本形成は同▲11.9%と減少が続いた。一方、外需は、輸出が堅調であったほか、輸入が減少したこともありプラス寄与が続いた。この結果、2020年通年の実質GDP成長率は同▲5.6%となった。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+6.5%～+7.5%と予想。
- 1月の輸出は、前年比+6.6%と5か月連続のプラス。仕向地別にみると、中国向けの伸びが加速した一方、NIEs・ASEAN・インド向けは鈍化。品目別にみると、原油や液化天然ガスといった資源類が軟調だったが、コロナ禍で需要が高まった機械類は好調を維持。

マレーシアの実質GDPの推移



(資料) マレーシア統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

マレーシアの輸出の推移



(資料) マレーシア統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. マレーシア

マレーシアの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	359	365	338								
人口(100万人)	32.4	32.5									
1人あたりGDP(ドル)	11,082	11,216									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.8)	(4.3)	(▲5.6)	(0.7)	(▲17.1)	(▲2.6)	(▲3.4)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(3.1)	(2.3)	(▲4.2)	(0.4)	(▲17.9)	(0.8)	(▲0.3)	(▲2.2)	(1.7)		
自動車販売台数(台)	598,598	604,281	529,435	106,583	68,267	170,464	184,121	57,604	68,836	32,829	
(前年比、%)	(3.8)	(0.9)	(▲12.4)	(▲25.5)	(▲55.5)	(16.2)	(14.2)	(9.5)	(25.5)	(▲23.6)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.0)	(0.7)	(▲1.1)	(0.9)	(▲2.6)	(▲1.4)	(▲1.5)	(▲1.7)	(▲1.4)	(▲0.2)	
輸出(FOB)(100万リンギット)	1,003,587	995,072	980,979	238,684	210,256	260,594	271,445	84,661	95,732	89,625	
(前年比、%)	(7.3)	(▲0.8)	(▲1.4)	(▲0.4)	(▲15.1)	(4.4)	(5.1)	(4.6)	(10.8)	(6.6)	
輸入(CIF)(100万リンギット)	879,804	849,411	796,194	201,717	182,649	200,254	211,573	67,608	75,039	73,023	
(前年比、%)	(5.2)	(▲3.5)	(▲6.3)	(1.3)	(▲15.1)	(▲6.3)	(▲4.5)	(▲9.0)	(1.6)	(1.3)	
貿易収支(100万リンギット)	123,783	145,661	184,785	36,967	27,607	60,340	59,872	17,053	20,693	16,603	
経常収支(100万リンギット)	32,295	50,850	62,120	9,504	7,556	26,095	18,965				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	99,850	101,726	105,280	99,705	101,200	102,637	105,280	103,034	105,280	106,279	
翌日物政策金利(%)◎	3.25	3.00	1.75	2.50	2.00	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75
為替(リンギ/ドル)*	4.0353	4.1427	4.2016	4.1819	4.3232	4.2038	4.1068	4.1138	4.0562	4.0369	4.0454
株価指数◎	1,690.6	1,588.8	1,627.2	1,350.9	1,501.0	1,504.8	1,627.2	1,562.7	1,627.2	1,566.4	1,577.8

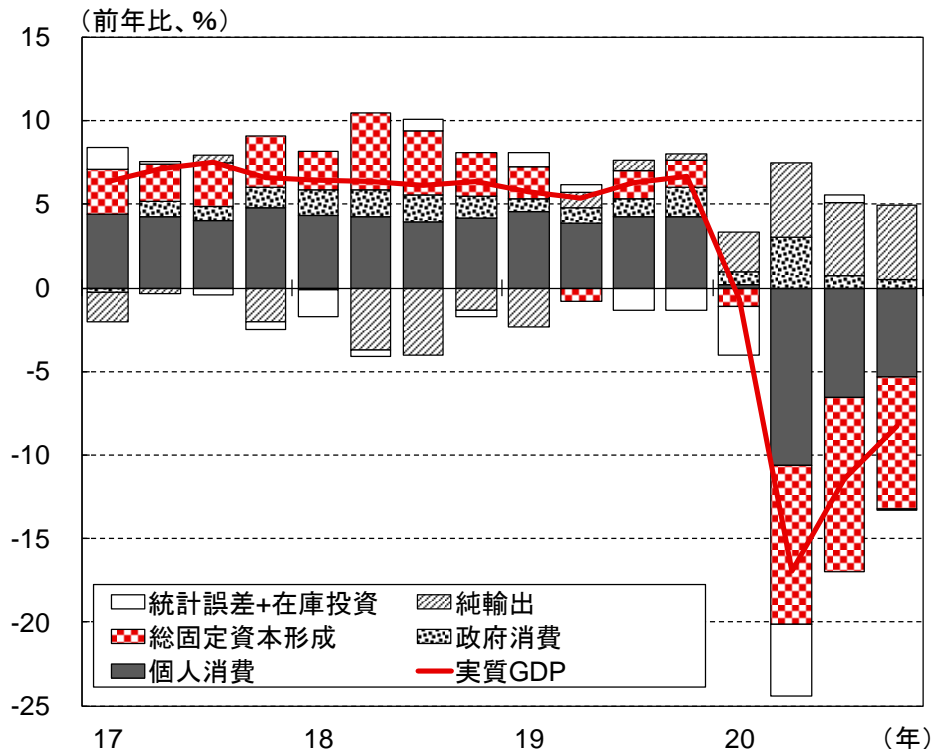
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)マレーシア中央銀行、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. フィリピン

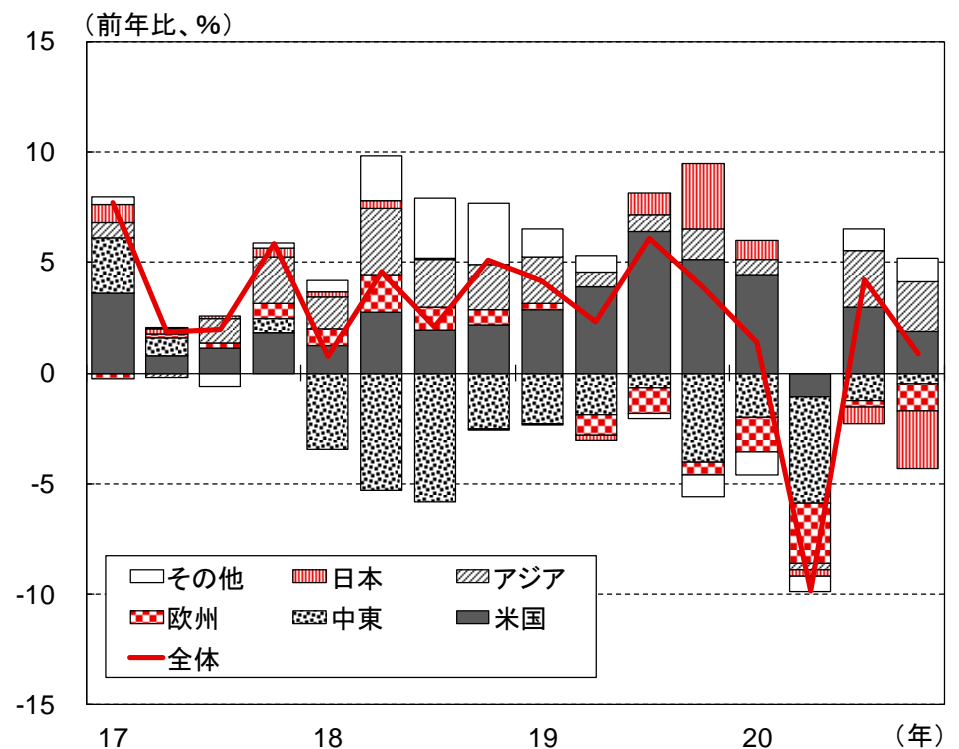
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は、前年比▲8.3%と前期(同▲11.4%)からマイナス幅が縮小したものの、4四半期連続でマイナス。内需は、感染抑止のため公衆衛生措置の長期化により個人消費が3四半期連続で減少したことに加え、総固定資本形成も大幅な減少が続いた。一方、外需は、輸入の減少を主因にプラス寄与が続いた。この結果、2020年通年の実質GDP成長率は同▲9.5%となった。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+6.5%~+7.5%と予想。
- 昨年10-12月の海外労働者送金は前年比+0.9%と2四半期連続で増加。昨春から昨夏にかけては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により失業者が増えたが、経済活動再開後は一部の国で外国人労働者の受け入れを再開しており増勢を維持。地域別では、日本、欧州がマイナス幅を拡大したものの中東ではマイナス幅が縮小。但し、昨年4-6月期の落ち込みが大きく、2020年通年では同▲0.8%と19年ぶりに減少。

フィリピンの実質GDP成長率の推移



(資料)フィリピン国家統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

フィリピンの海外労働者送金の推移



(資料)フィリピン中央銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. フィリピン

フィリピンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	347	374	353								
人口(100万人)	105.8	107.3	108.8								
1人あたりGDP(ドル)	3,280	3,485	3,247								
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.3)	(6.0)	(▲9.5)	(▲0.7)	(▲16.9)	(▲11.4)	(▲8.3)				
製造業生産指数(前年比、%)	(7.1)	(▲8.4)	(▲10.3)	(0.7)	(▲26.2)	(▲9.5)	(▲6.4)	(▲8.6)	(▲2.8)		
国内自動車販売(台)	357,410	399,911	223,793	64,542	20,499	62,971	75,781	23,162	27,596	23,380	
(前年比、%)	(▲16.0)	(11.9)	(▲44.0)	(▲31.2)	(▲78.3)	(▲38.3)	(▲30.8)	(▲39.1)	(▲18.1)	(▲1.4)	
消費者物価指数(前年比、%)	(5.2)	(2.5)	(2.6)	(2.7)	(2.3)	(2.5)	(3.1)	(3.3)	(3.5)	(4.2)	
輸出(FOB)(100万ドル)	69,307	70,927	63,879	15,732	12,749	17,430	17,968	5,850	5,850		
(前年比、%)	(0.9)	(2.3)	(▲9.9)	(▲5.1)	(▲29.2)	(▲6.5)	(1.4)	(4.0)	(1.7)		
輸入(CIF)(100万ドル)	112,841	111,593	85,687	23,261	15,894	22,903	23,629	7,576	7,999		
(前年比、%)	(17.4)	(▲1.1)	(▲23.2)	(▲13.6)	(▲43.4)	(▲20.2)	(▲15.3)	(▲18.3)	(▲8.2)		
貿易収支(100万ドル)	▲ 43,533	▲ 40,666	▲ 21,808	▲ 7,529	▲ 3,145	▲ 5,473	▲ 5,661	▲ 1,726	▲ 2,149		
経常収支(100万ドル)	▲ 8,877	▲ 3,386		223	4,373	4,113					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	71,040	79,824	98,512	80,846	85,454	88,849	98,512	94,068	98,512	97,981	
TBレート金利◎	5.36	3.19	1.01	3.02	1.98	1.15	1.01	1.02	1.01	0.98	0.87
為替(ペソ/ドル)*	52.66	51.80	49.62	50.83	50.46	48.94	48.27	48.25	48.06	48.06	48.20
株価指数◎	7,466.0	7,815.3	7,139.7	5,321.2	6,207.7	5,864.2	7,139.7	6,791.5	7,139.7	6,612.6	6,794.9

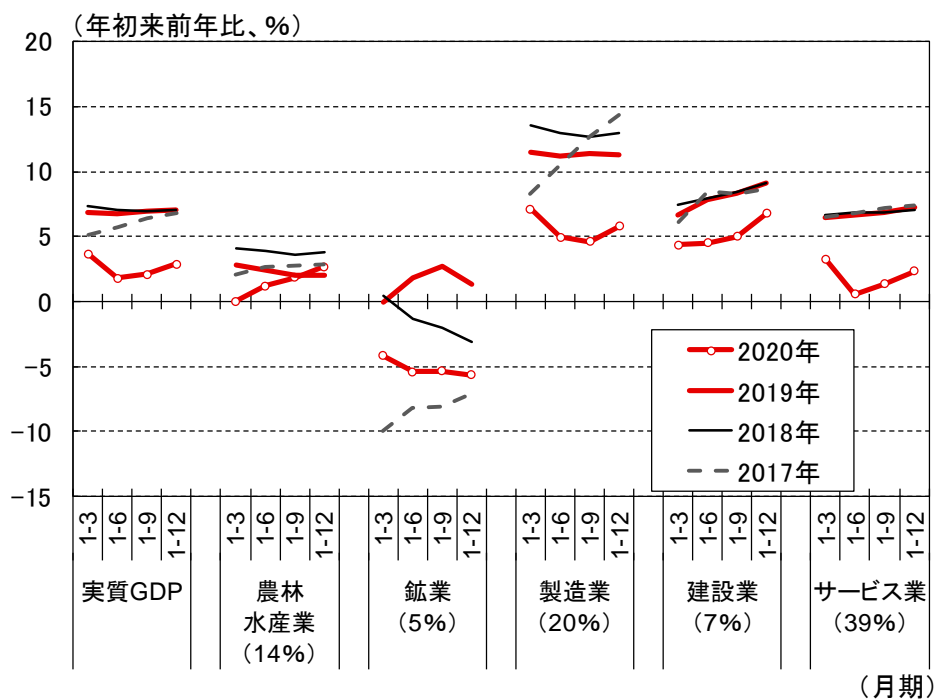
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)フィリピン国家統計局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. ベトナム

- 2020年通年の実質GDP成長率は前年比+2.9%と昨年1-9月期(同+2.1%)からプラス幅を拡大。コロナ禍発生から年末まで感染拡大を概ね抑制できたことで、年間を通してプラス成長が続いた。産業別では、鉱業は引き続きマイナスとなったが、その他の産業については伸びが加速。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+6.5%と予想。
- 2月の鉱工業生産は前年比▲7.2%と前月(同+22.2%)から一転して前年割れ。旧正月の期間が今年は2月(去年は1月)であったことから同月稼働日が昨年に比べ減少したことが主因と考えられ、1-2月通算では同+8.8%と堅調に推移。

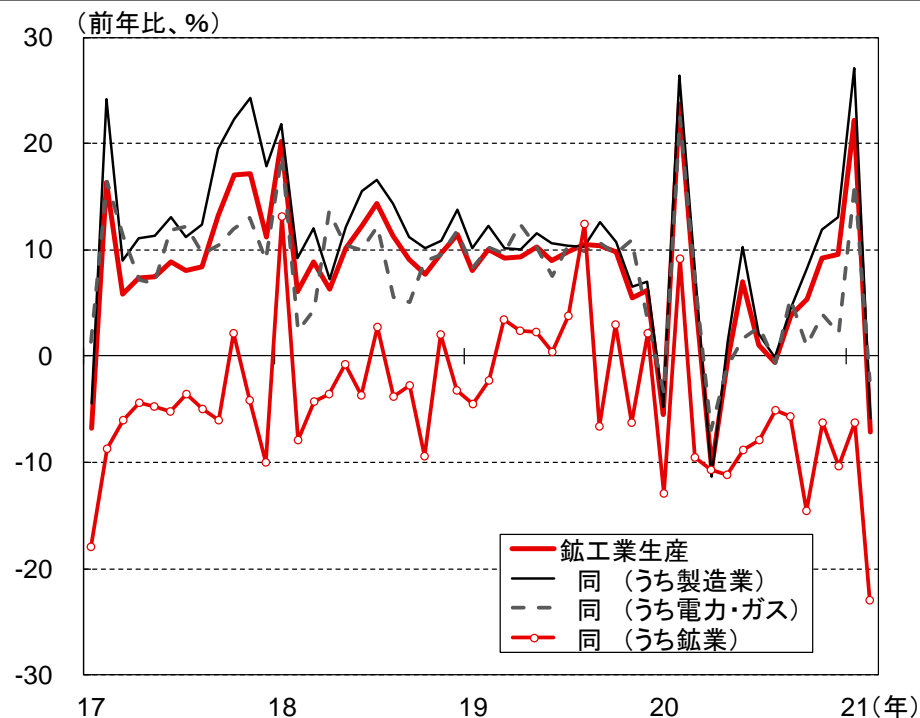
ベトナムの産業別実質GDP成長率の推移



(注) 年初来累計値。産業名下の()内はGDPに占めるシェア(2020年)。

(資料) ベトナム統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ベトナムの鉱工業生産の推移



(注) 2018年から基準変更。

(資料) ベトナム統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. ベトナム

ベトナムの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	245	262	271								
人口(100万人)	95.4	96.5	97.6								
1人あたりGDP(ドル)	2,571	2,715	2,778								
実質GDP成長率(前年比、%)	(7.1)	(7.0)	(2.9)	(3.7)	(0.4)	(2.7)	(4.5)				
鉱工業生産(前年比、%)	(10.2)	(9.1)	(3.4)	(3.4)	(▲4.9)	(4.0)	(7.7)	(9.2)	(9.5)	(22.2)	(▲7.2)
国内自動車販売(台)	276,234	305,786	284,150	50,177	52,711	69,817	111,445	34,860	44,978	24,216	
(前年比、%)	(10.2)	(10.7)	(▲7.1)	(▲31.5)	(▲27.2)	(▲4.7)	(28.3)	(24.5)	(43.1)	(59.2)	
消費者物価指数(前年比、%)	(3.5)	(2.8)	(3.2)	(5.6)	(2.8)	(3.2)	(1.4)	(1.5)	(0.2)	(▲1.0)	(0.7)
輸出(FOB)(100万ドル)	243,697	264,267	281,493	63,392	59,366	79,738	80,150	25,238	27,653	28,546	20,000
(前年比、%)	(13.3)	(8.4)	(6.5)	(7.8)	(▲6.9)	(10.6)	(15.1)	(10.7)	(22.7)	(55.1)	(▲4.7)
輸入(CIF)(100万ドル)	236,869	253,393	262,573	59,631	57,412	69,017	76,917	24,692	27,905	26,459	20,800
(前年比、%)	(11.2)	(7.0)	(3.6)	(3.9)	(▲9.5)	(3.7)	(16.5)	(15.7)	(24.5)	(41.3)	(10.5)
貿易収支(100万ドル)	6,828	10,874	18,920	3,761	1,953	10,721	3,233	546	▲252	2,086	▲800
経常収支(100万ドル)	5,899	13,101		4,153							
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	55,453	78,335		81,679	83,747	88,740					
リファイナンスレート◎	6.25	6.00	4.00	5.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
為替(ドン/ドル)*	23,032	23,231	23,223	23,264	23,333	23,173	23,153	23,164	23,121	23,067	23,016
株価指数◎	892.54	960.99	1,103.87	662.53	825.11	905.21	1,103.87	1,003.08	1,103.87	1,056.61	1,168.47

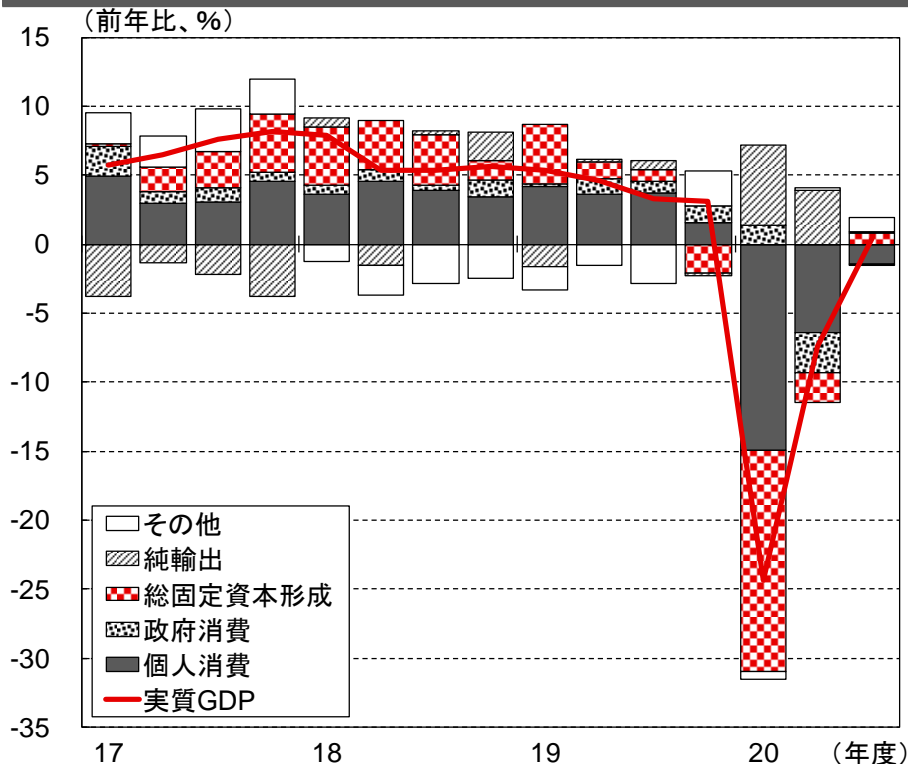
(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値。

(資料)ベトナム統計総局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. インド

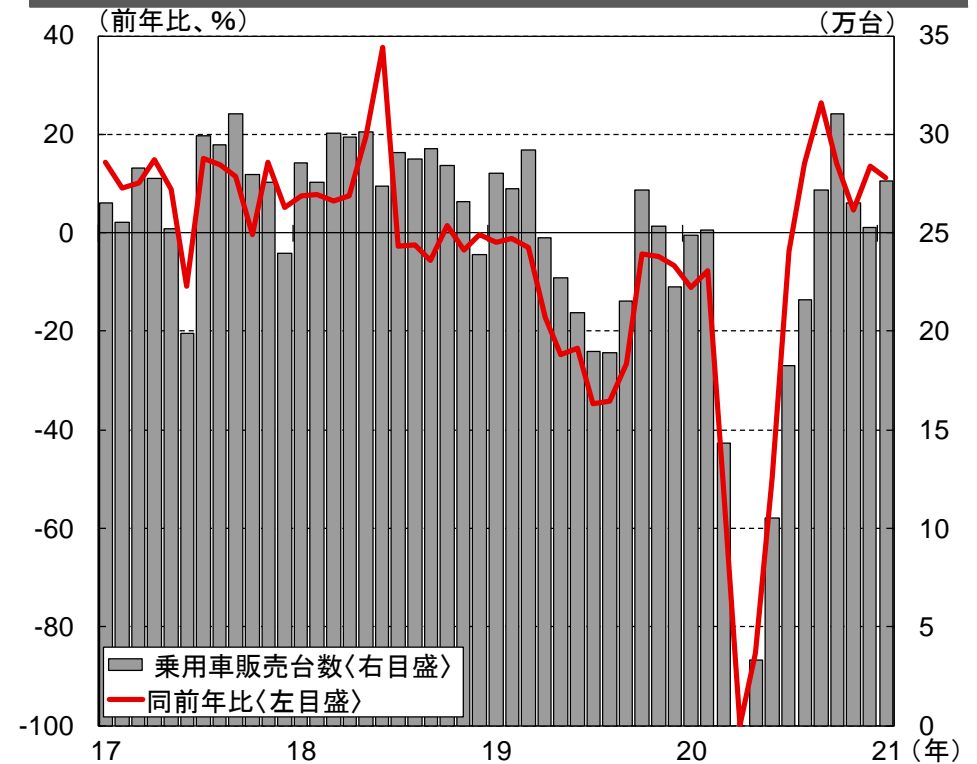
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は、前年比▲0.4%と引き続き前年割れとなったものの、前期(同▲7.3%)からマイナス幅は縮小。内需は行動制限措置の緩和を受けて個人消費のマイナス幅が大幅に縮小し、総固定資本形成についてはプラス転化。外需は、輸入の増加を主因にプラス寄与が縮小。なお、政府は2020年度の実質GDP成長率を前年度比▲7.7%、2021年度は同+11.0%と予想。
- 1月の乗用車販売台数は27.7万台、前年比では+11.1%と6カ月連続でプラス。新型コロナウイルス感染拡大のピークアウトにより、昨年4月頃の大幅な減少の反動から過去最高水準まで増加し、足元でも堅調に推移。

インドの実質GDPの推移



(資料) インド中央統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

インドの乗用車販売台数の推移



(資料) インド自動車工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. インド

インドの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	18年度	19年度	20年度	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
名目GDP(10億ドル)	2,723	2,885									
人口(100万人)	1,327	1,341	1,355								
1人あたりGDP(ドル)	2,052	2,151									
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.0)	(4.1)		(3.1)	(▲24.4)	(▲7.3)	(0.4)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(3.8)	(▲0.8)		(▲4.3)	(▲35.6)	(▲5.7)	(1.0)	(▲2.1)	(1.0)		
乗用車販売台数(台)	3,377,450	2,669,380		643,370	139,163	670,722	828,190	264,898	252,998	276,554	
(前年比、%)	(2.7)	(▲21.0)		(▲23.8)	(▲79.7)	(12.8)	(10.8)	(4.6)	(13.6)	(11.1)	
卸売物価指数(前年比、%)	(4.3)	(1.7)		(2.1)	(▲2.3)	(0.5)	(1.6)	(2.3)	(1.2)	(2.0)	
消費者物価指数(前年比、%)	(3.4)	(4.8)		(6.7)	(6.6)	(6.9)	(6.4)	(6.9)	(4.6)	(4.1)	
輸出(100万ドル)	330,079	313,293		75,081	51,325	74,109	75,649	23,519	27,145	27,450	27,670
(前年比、%)	(8.8)	(▲5.1)		(▲12.7)	(▲36.6)	(▲5.3)	(▲4.3)	(▲8.6)	(0.1)	(6.2)	(▲0.3)
輸入(100万ドル)	514,050	474,705		110,521	61,257	88,258	109,613	33,395	42,586	41,990	40,550
(前年比、%)	(10.6)	(▲7.7)		(▲9.2)	(▲52.9)	(▲25.2)	(▲5.6)	(▲13.3)	(7.6)	(2.0)	(7.0)
貿易収支(100万ドル)	▲183,971	▲161,412		▲35,440	▲9,932	▲14,149	▲33,964	▲9,876	▲15,441	▲14,540	▲12,880
経常収支(100万ドル)	▲57,180	▲24,550		584	19,234	15,531					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	390,268	447,527		447,527	472,094	508,527	549,087	539,922	549,087		
レポレート(%)◎	6.25	4.40		4.40	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
為替(ルピー/ドル)*	69.89	70.88		72.36	75.86	74.39	73.74	74.22	73.59	73.11	72.76
株価指数◎	38,673	29,468		29,468	34,916	38,068	47,751	44,150	47,751	46,286	49,100

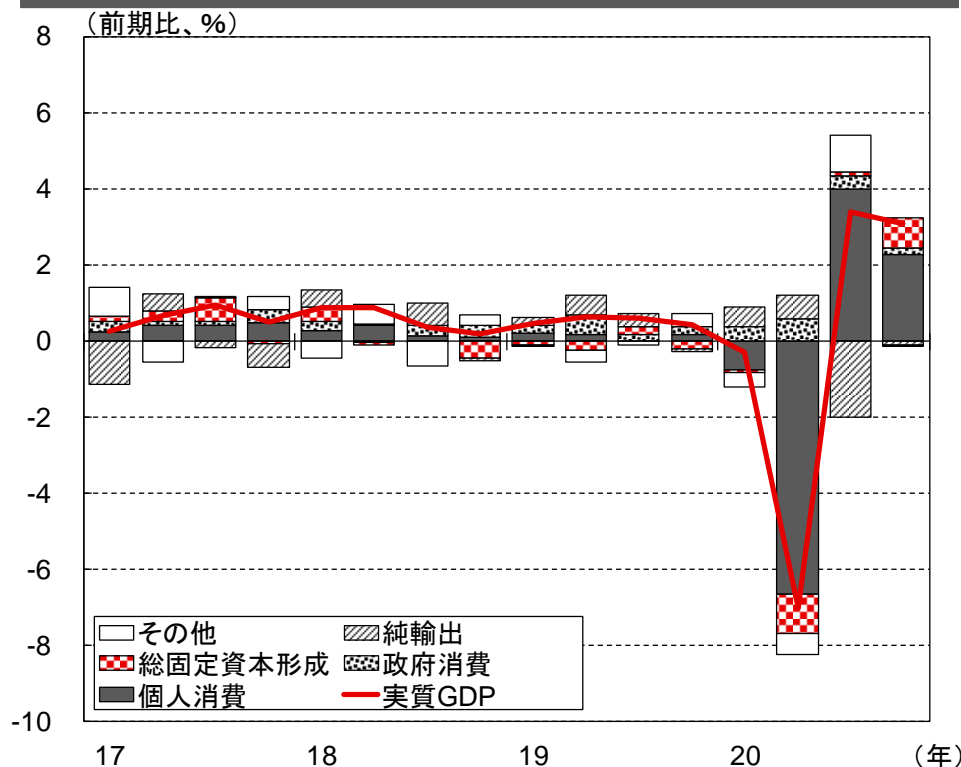
(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値。

(資料) インド準備銀行、中央統計局、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 豪州

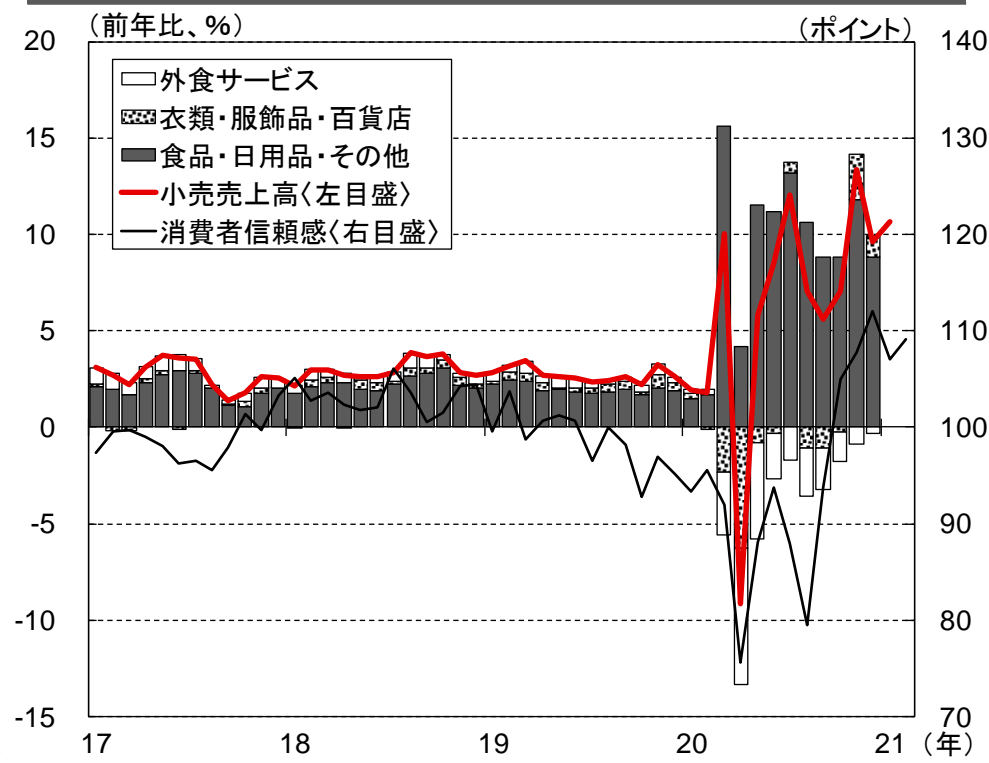
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は前期比+3.1%と2四半期連続でプラス。内需は、個人消費が同+4.3%と改善が続き、総固定資本も同+0.8%とプラスに寄与。外需は、輸出の回復を主因にマイナス寄与が縮小。この結果、2020年通年の実質GDP成長率は前年比▲2.5%となった。なお、政府は2021年の実質GDP成長率を同+4.5%と予想。
- 1月の小売売上高は前年比+10.7%と9ヵ月連続のプラス。新型コロナウイルスの感染抑制に成功したことに加え、政府による積極的な財政政策もあり伸び率例年になく高い水準で推移。昨年12月の内訳をみると、食品と日用品が大きくプラスに寄与しており、外食サービスの減少もほとんど見られず。また、2月の消費者信頼感指数も引き続き高い水準で推移。

豪州の実質GDPの推移



(資料) 豪州統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

豪州の小売売上高と消費者信頼感指数の推移



(資料) 豪州統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 豪州

豪州の主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/1-3	4-6	7-9	10-12	20/11	12	21/1	2
実質GDP成長率(前年比、%)○	2.9	1.9	▲ 2.5	1.4	▲ 6.3	▲ 3.7	▲ 1.1				
小売売上高(億豪ドル)○	3,208	3,296	3,514	855	835	893	916	317	304	305	
(前年比、%)	(3.0)	(2.7)	(6.6)	(4.6)	(1.7)	(8.2)	(10.0)	(13.3)	(9.6)	(10.7)	
自動車販売台数(万台)○	115.3	106.3	91.7	23.3	20.9	20.2	27.2	9.5	9.6	8.0	8.4
(前年比、%)	(▲3.0)	(▲7.8)	(▲13.7)	(▲13.1)	(▲26.9)	(▲21.2)	(8.2)	(12.4)	(13.5)	(11.1)	(5.1)
住宅建設許可件数(万件)○	21.1	17.6	18.5	4.5	4.1	4.4	5.5	1.8	2.0	1.6	
(前年比、%)	(▲5.9)	(▲16.9)	(5.5)	(▲2.5)	(▲5.5)	(7.6)	(20.4)	(17.9)	(24.0)	(19.0)	
失業率○	5.3	5.2	6.5	5.2	7.0	7.1	6.8	6.8	6.6	6.4	
賃金指数(除く賞与、前年比、%)○	(2.2)	(2.3)	(1.7)	(2.2)	(1.7)	(1.4)	(1.4)				
消費者物価指数(前年比、%)	(1.9)	(1.6)	(0.8)	(2.2)	(▲0.3)	(0.7)	(0.9)				
輸出(億豪ドル)○	4,384	4,927	4,340	1,158	1,073	1,011	1,086	363	373		
(前年比、%)	(13.3)	(12.4)	(▲11.9)	(▲1.0)	(▲13.2)	(▲21.6)	(▲11.0)	(▲13.4)	(▲7.4)		
輸入(億豪ドル)○	4,160	4,252	3,613	980	848	876	903	312	305		
(前年比、%)	(10.1)	(2.2)	(▲15.0)	(▲6.0)	(▲20.3)	(▲19.4)	(▲13.9)	(▲6.6)	(▲12.8)		
貿易収支(億豪ドル)○	225	675	727	178	225	135	183	50	68		
経常収支(億豪ドル)○	▲ 402	117	494	75	164	107	145				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	51,048	56,364	39,620	52,598	39,028	39,647	39,620	40,336	39,620	38,703	
政策金利(%)◎	1.50	0.75	0.10	0.25	0.25	0.25	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
3ヵ月物金利(%)◎	2.09	0.93	0.01	0.36	0.10	0.08	0.01	0.02	0.01	0.01	0.03
10年物国債利回り(%)◎	2.32	1.37	0.97	0.77	0.87	0.84	0.97	0.90	0.97	1.09	1.87
為替(USD/AUD)*	0.748	0.695	0.691	0.658	0.657	0.715	0.730	0.726	0.752	0.773	0.775
株価指数◎	5,646	6,684	6,587	5,077	5,898	5,816	6,587	6,518	6,587	6,607	6,673

(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) 豪州統計局、連邦準備銀行、連邦自動車産業会議所統計、Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：野瀬 陽平 e-mail: youhei_nose@mufg.jp
鷹巢 里奈 e-mail: rina_takasu@mufg.jp